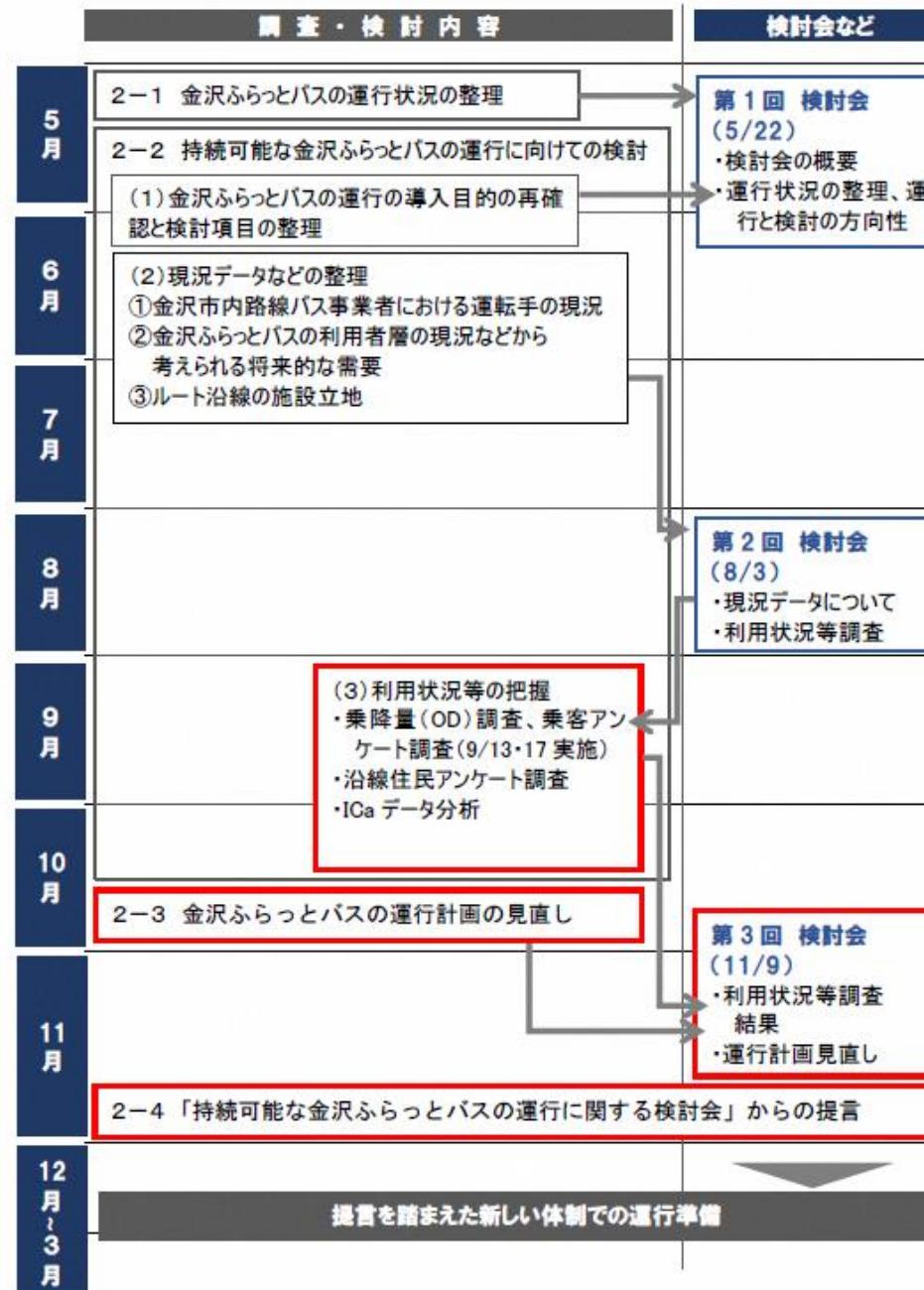


# 第3回 持続可能な金沢ふらっとバスの 運行に関する検討会

令和2年11月9日（月）

# スケジュール



# 第2回検討会での主な意見と対応

- 金沢ふらっとバスを利用していない方の意見を把握してはどうか。
- 運転免許返納の推進が必要。運転免許を返納する前から金沢ふらっとバスを利用してもらえるような取組が必要。
- 若い人向けた利用喚起の施策も効果的ではないか。
- まちづくりと連携した金沢ふらっとバスのあり方の検討が必要。

⇒沿線住民アンケートを実施し、乗降量調査結果と併せ、ヒント・課題となる事項を取りまとめた。

# 目次

## 1. 利用状況などの把握

1 - 1. 乗降量調査結果

1 - 2. 沿線住民アンケート調査結果

1 - 3. 乗降量調査・沿線住民アンケート調査のまとめ

## 2. 交通事業者の意向

## 3. 「持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会」からの提言（案）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査

### (1) 調査概要

項目	内 容				
①調査日	令和2年9月13日（日）、17日（木）				
②調査対象	小学生以上の全ての乗客				
③調査方法	バス車内における、目視と聞き取りにより調査				
④調査内容	<p>【属性】 年代／性別／居住地／免許の有無／補助具 【利用状況】乗降バス停／利用便／利用曜日／目的地（具体的な名称）／乗車目的／他の交通手段への乗り換え／往復・片道利用／片道の交通手段／利用頻度／利用年数 【自由回答】金沢ふらっとバスの運行に関する意見</p>				
⑤回答数	ルート	9/13（日）	9/17（木）	合計	昨年9月の1日平均乗客数2,143人
	此花	318	450	768	
	菊川	276	456	732	
	材木	275	424	699	
	長町	222	341	563	
	合計	1,091	1,671	2,762	

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果結果

### (2) 調査結果

#### ①ルート全体（性別）

●利用者の約75%を女性が占めている

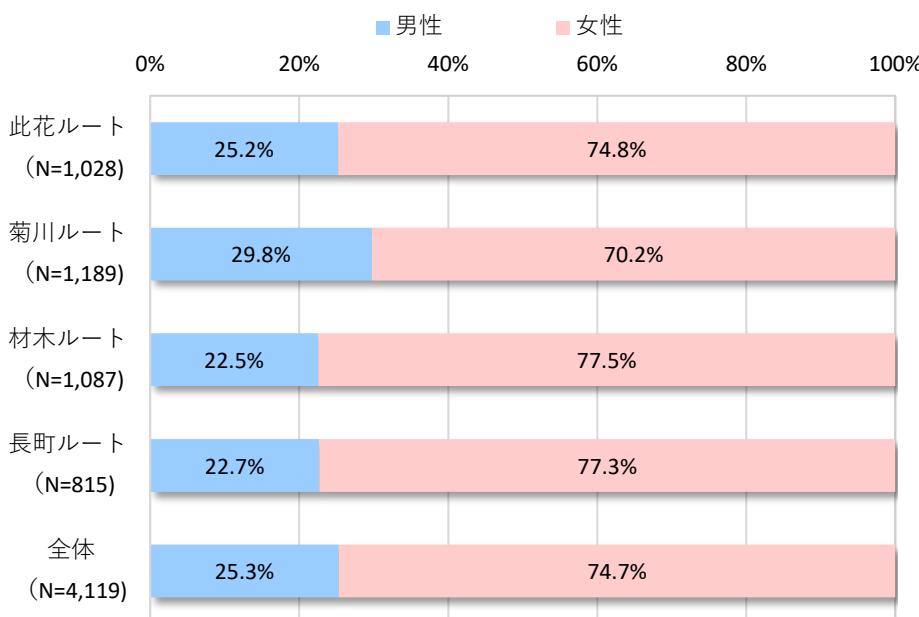


図 利用者の性別 (H24)

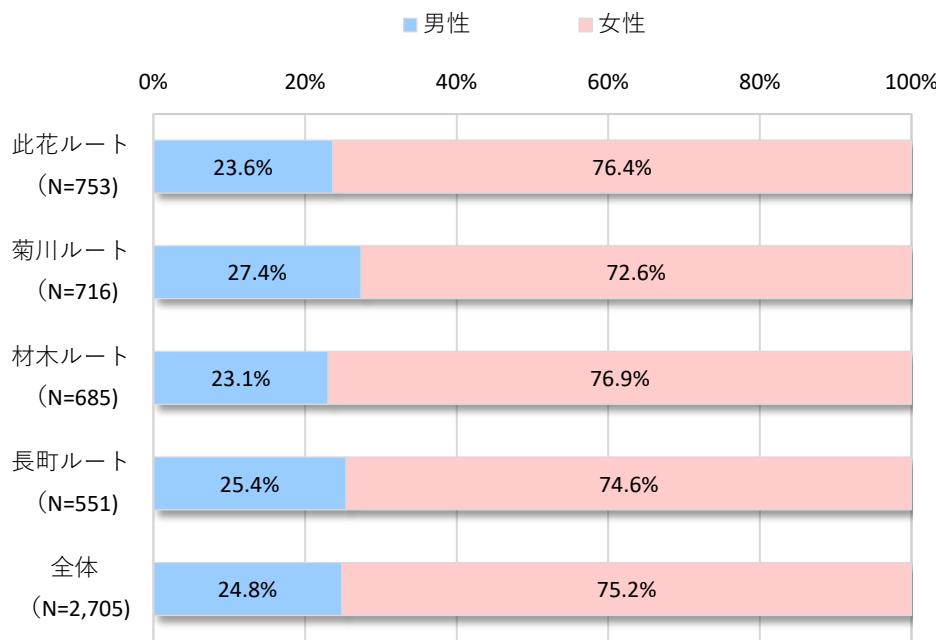


図 利用者の性別 (R2)

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ①ルート全体（性別・平日）

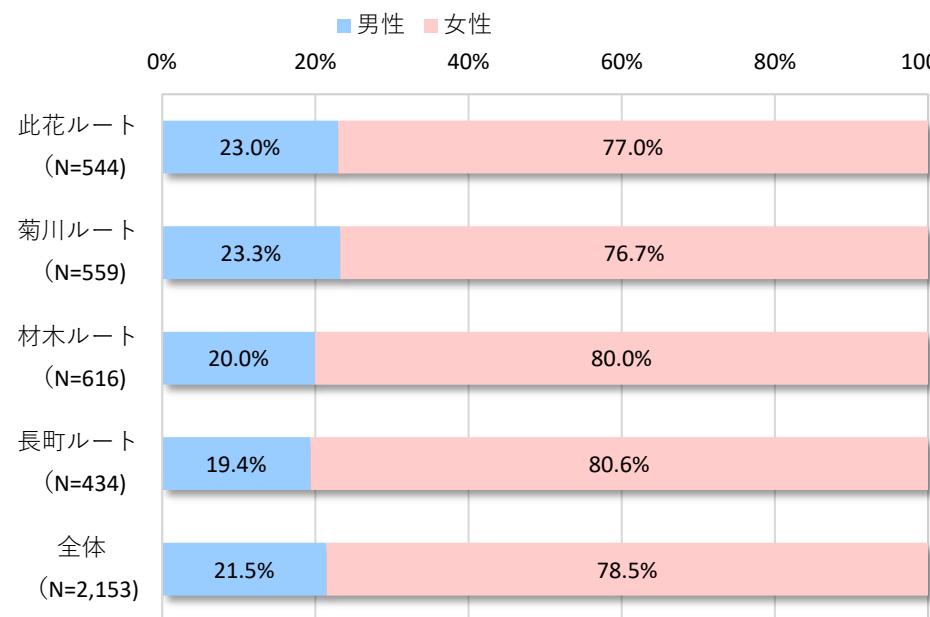


図 利用者の性別 (H24平日)

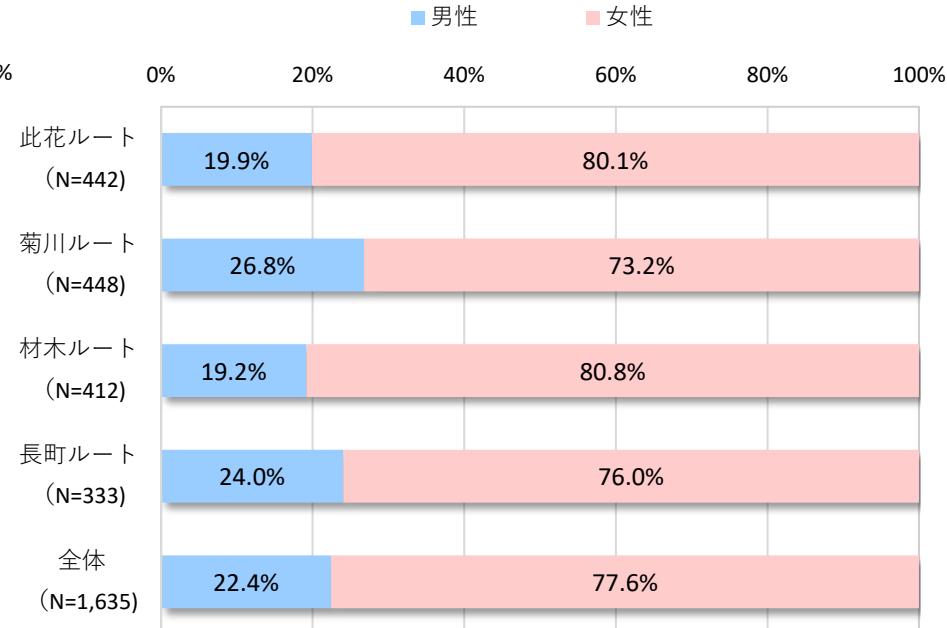


図 利用者の性別 (R2平日)

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ①ルート全体（性別・休日）

- 男性の割合は、平日に比べて休日の方が若干高くなる

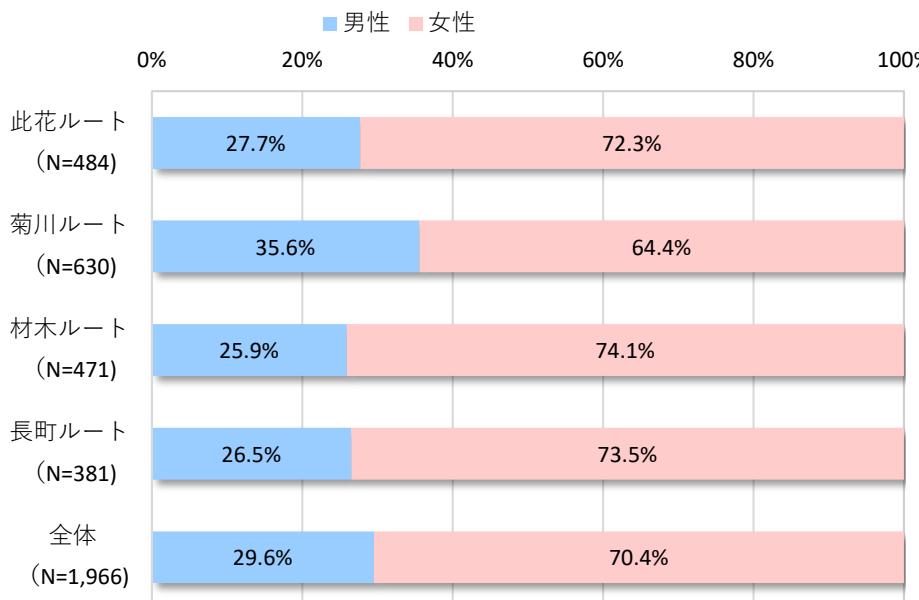


図 利用者の性別（H24休日）

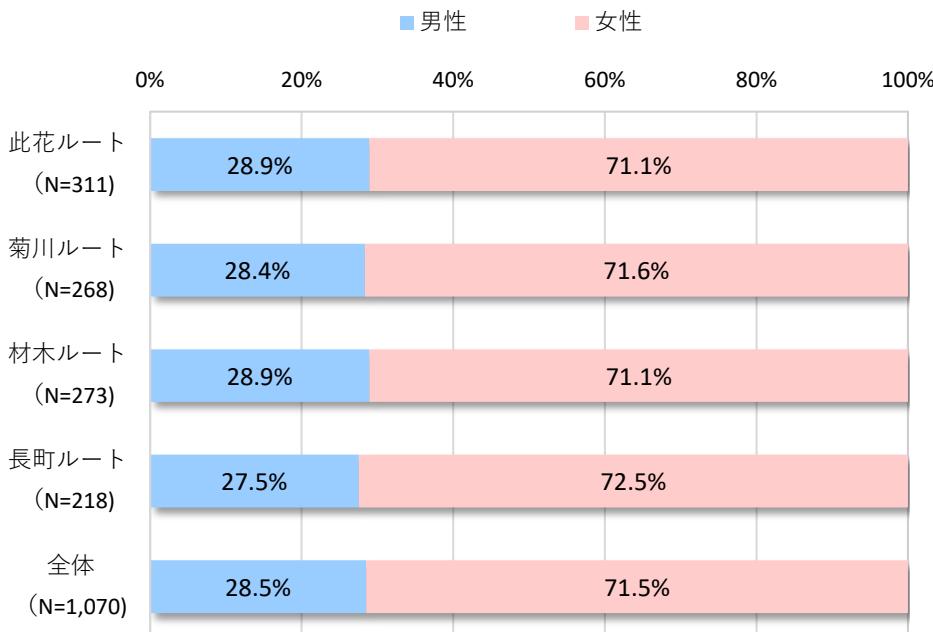


図 利用者の性別（R2休日）

# 1. 利用状況などの把握

## 1 - 1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ①ルート全体（平日・休日別年代）

●H24調査と比較して、高年齢化が進んでいる

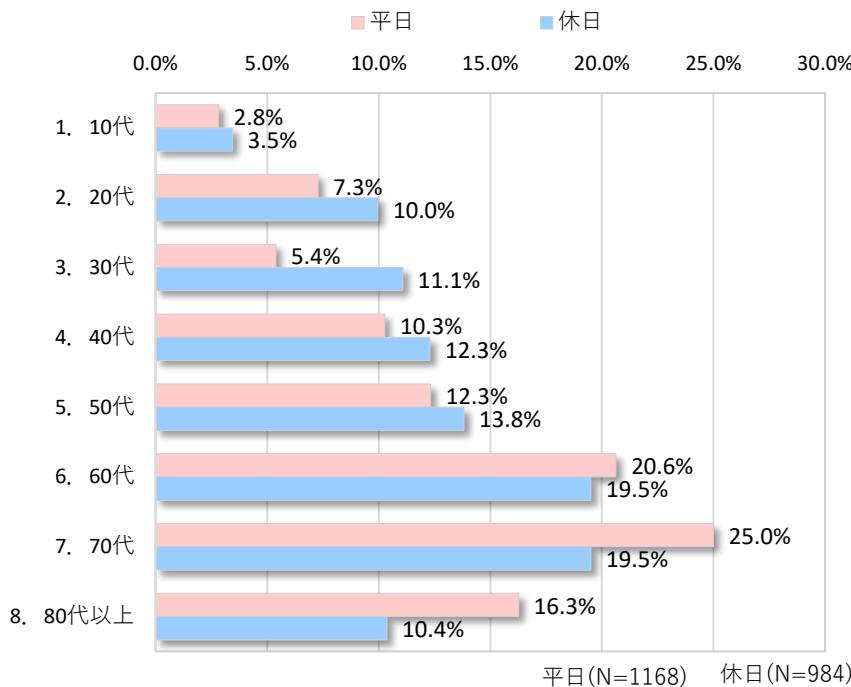


図 平日・休日別利用者の年代（H24）

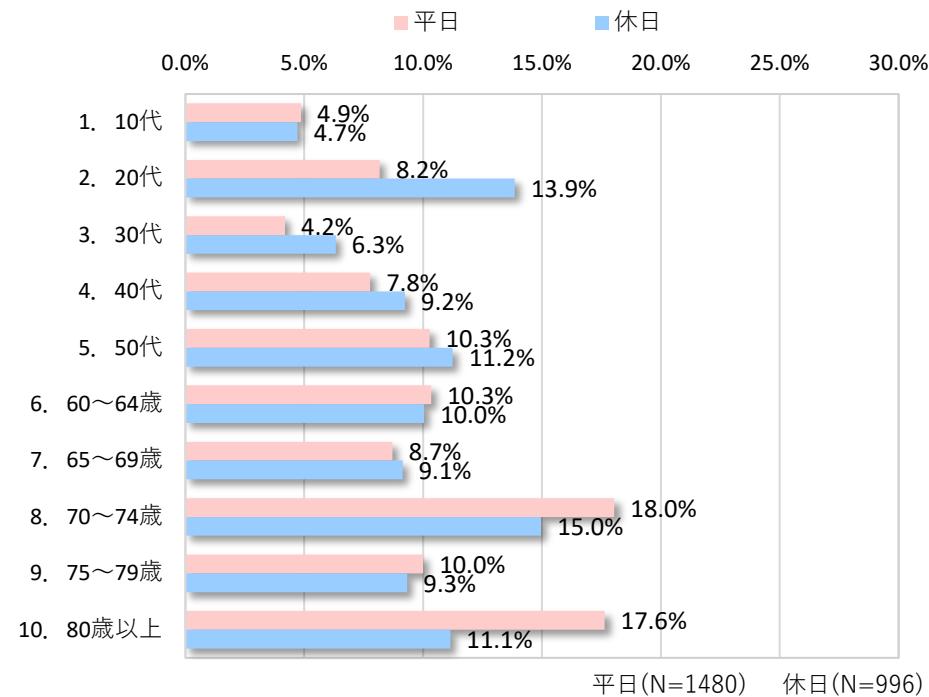


図 平日・休日別利用者の年代（R2）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ①ルート全体（利用目的）

- 利用者の目的は「買物」が49.3%、「通勤」が11.9% **(R2年度調査)**
- 「通院」が今回調査は4.8%で、H24調査より減少した以外、大きな変化はない

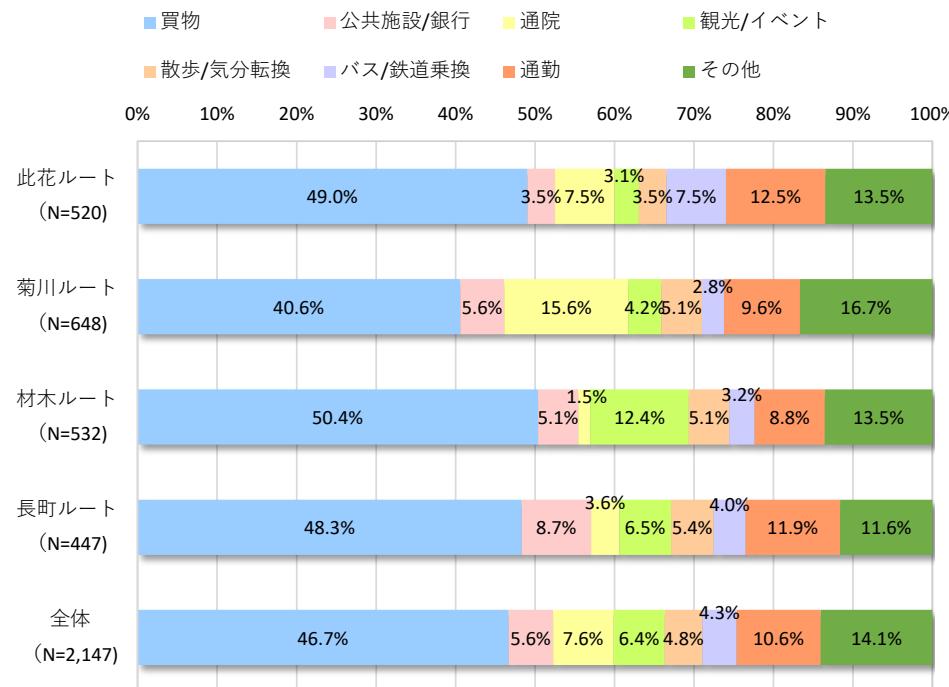


図 利用の目的 (H24)

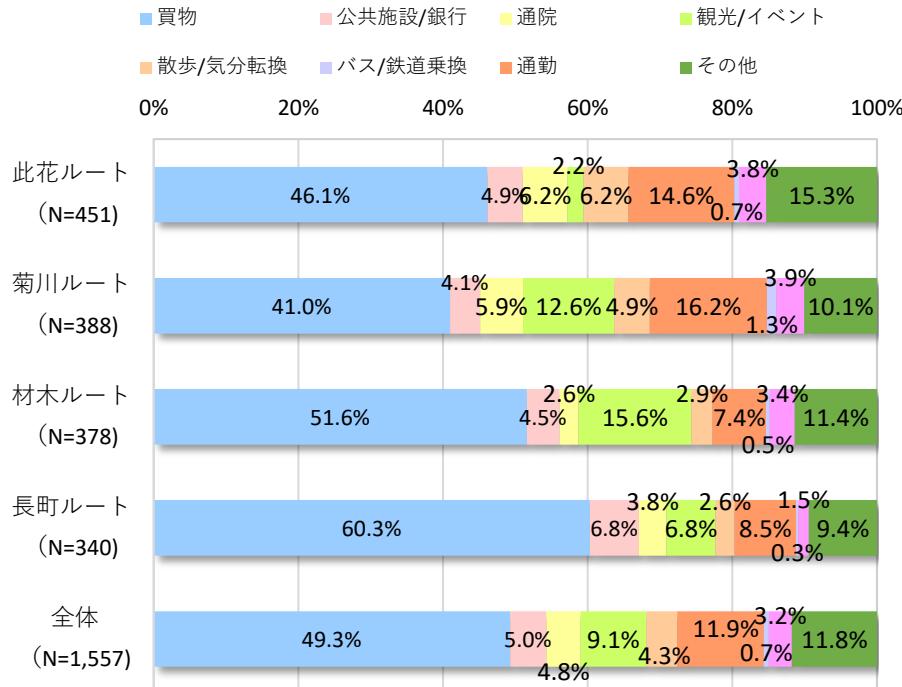


図 利用の目的 (R 2)

# 1. 利用状況などの把握

## 1 - 1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ①ルート全体（平日・休日別目的）

- 平日・休日別の利用者の目的は平日・休日ともに「買物」が最も多い
- 「買物」以外は、平日は「通院」、「通勤」が多く、休日は「観光/イベント」、「散歩/気分転換」が多い

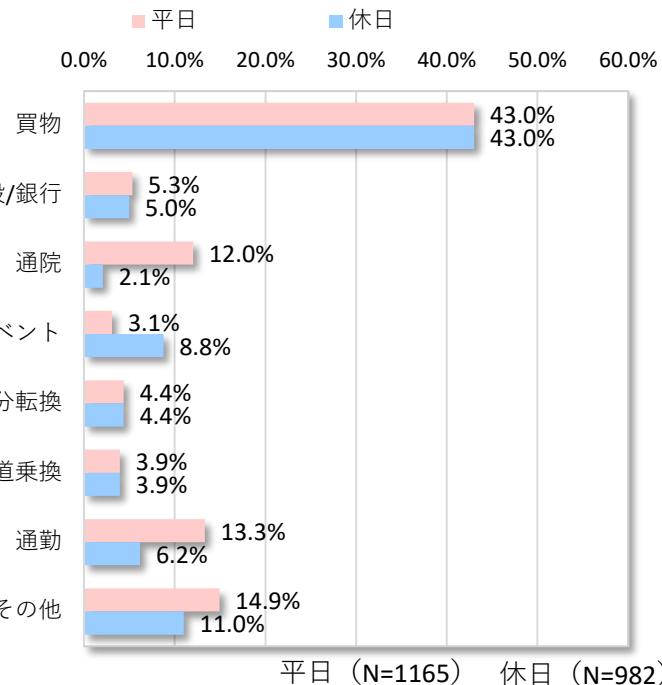


図 平日・休日別利用の目的(H24)

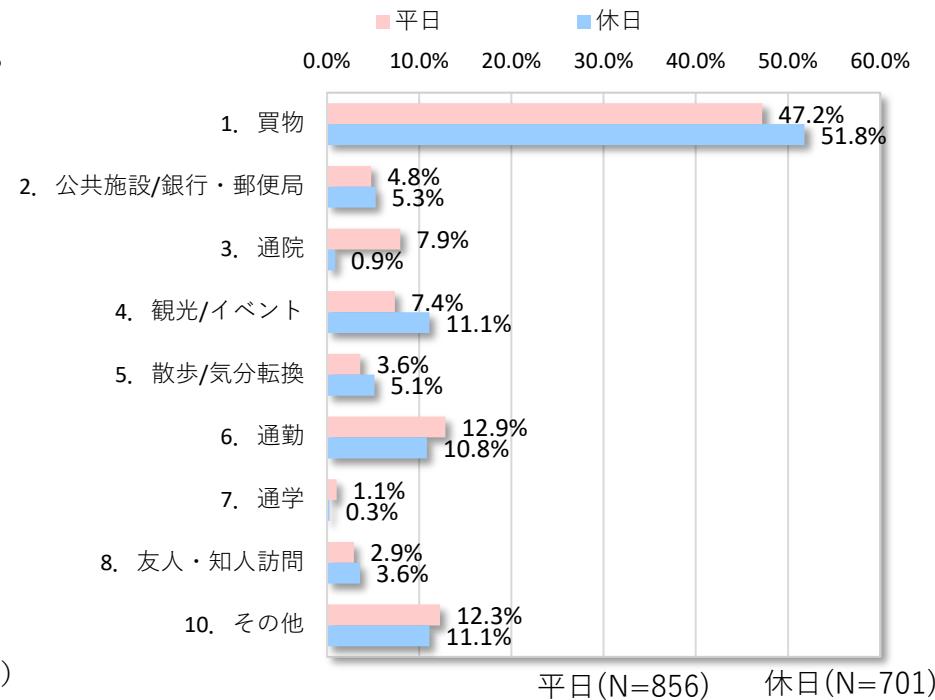


図 平日・休日別利用の目的(R2)

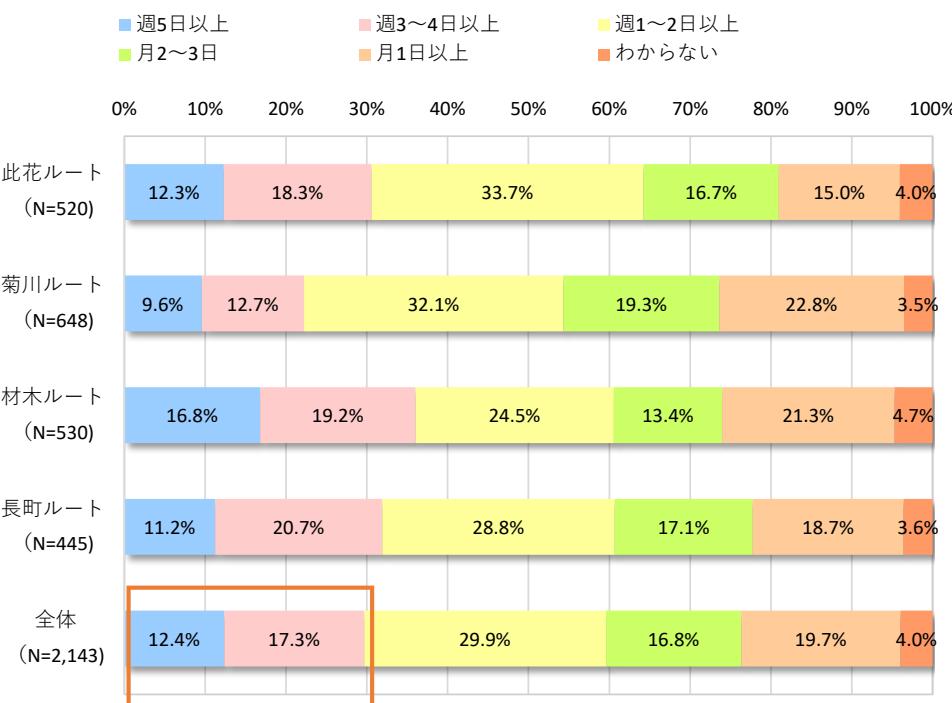
# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

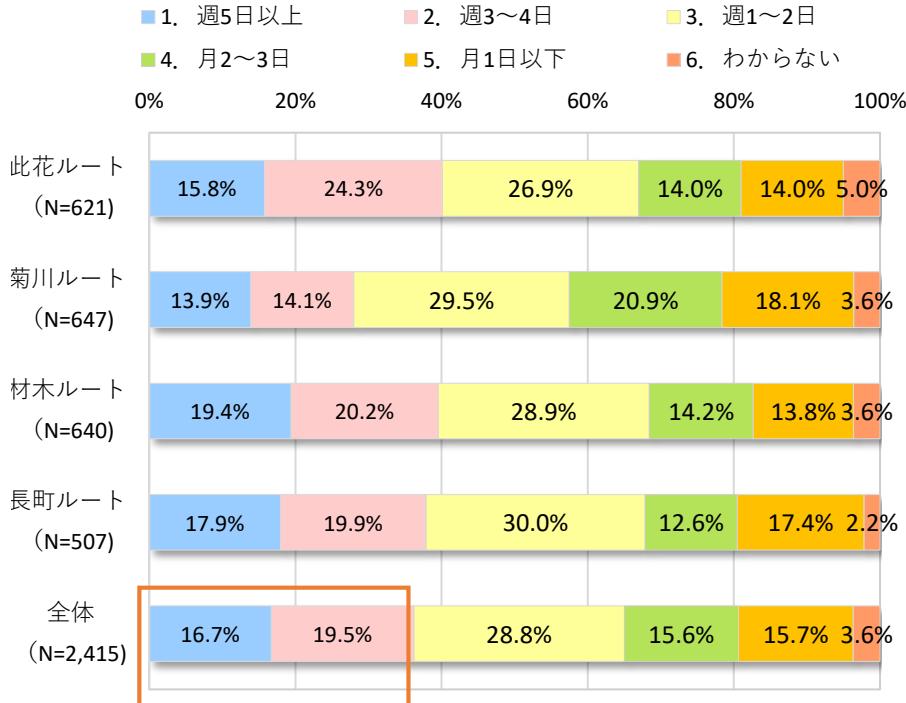
#### ①ルート全体（利用頻度）

- 利用頻度は「週3~4日」以上利用している人が36.2%でH24調査（29.7%）より、6.5ポイント増加



29.7%

図 利用の頻度 (H24)



36.2%

図 利用の頻度 (R2)

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

①ルート全体（往復・片道利用の別、片道利用の人の反対方向の移動手段）

- 約半数が片道だけ金沢ふらっとバスを利用しておらず、もう片方の移動手段は、徒歩、路線バスが多い

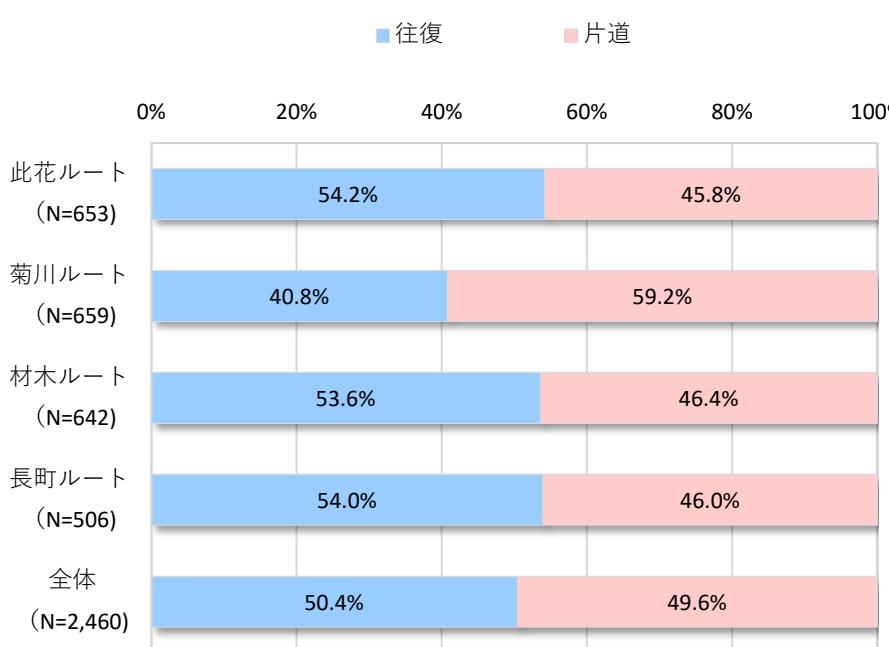


図 往復・片道利用の別 (R2)

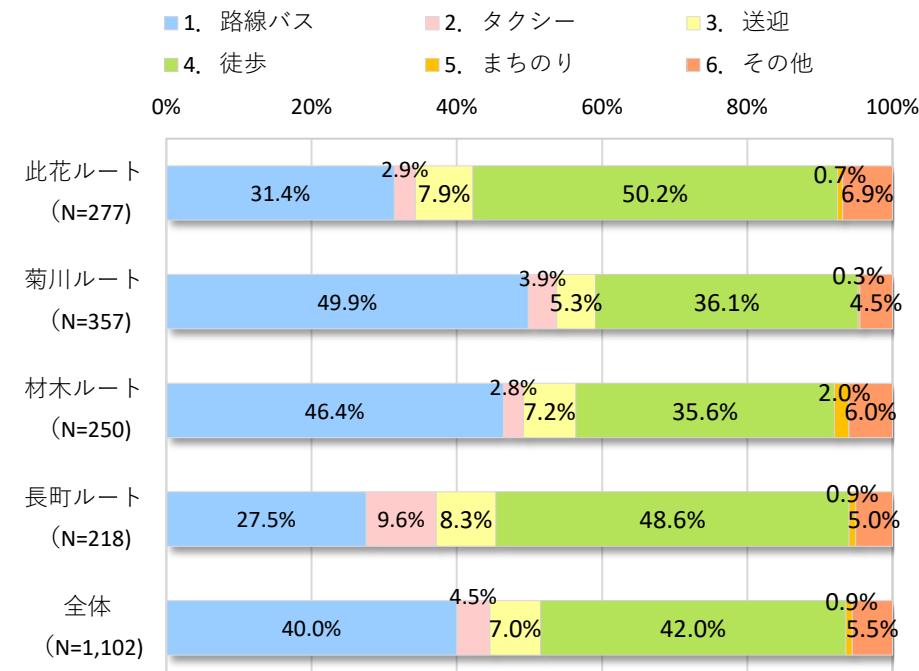


図 片道利用の人の反対方向の移動手段(R2)

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ②此花ルート

- 平日・休日とも金沢駅、武蔵ヶ辻、近江町市場の乗降が多い。
- 乗降の組み合せは、平日・休日とも、金沢駅→武蔵ヶ辻が最も多い。

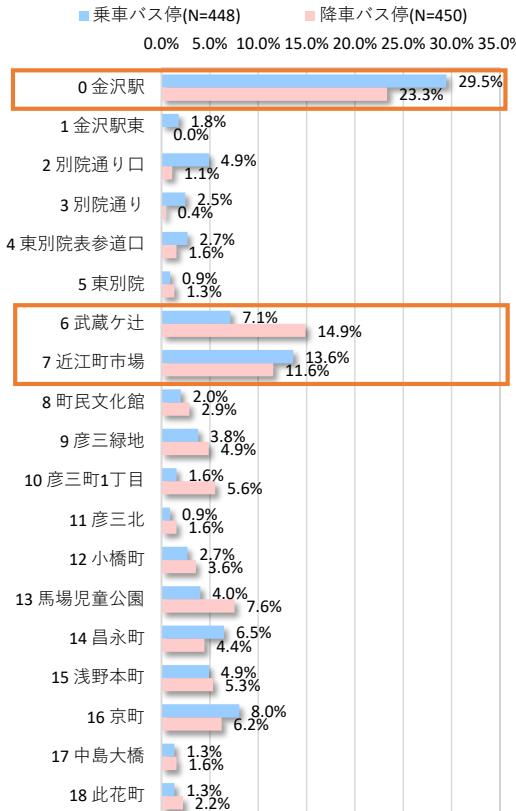


図 バス停別乗降客の割合（平日）

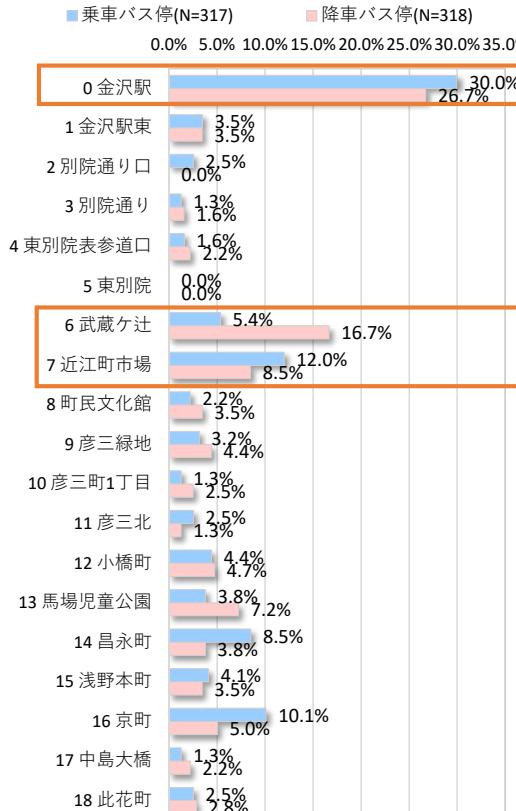


図 バス停別乗降客の割合（休日）

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（平日）  
(N=445)

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	0 金沢駅 → 6 武蔵ヶ辻	32	7.2%
2	0 金沢駅 → 7 近江町市場	20	4.5%
3	14 昌永町 → 0 金沢駅	17	3.8%
4	0 金沢駅 → 10 彦三町1丁目	16	3.6%
5	15 浅野本町 → 0 金沢駅	15	3.4%

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（休日）  
(N=315)

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	0 金沢駅 → 6 武蔵ヶ辻	27	8.6%
2	14 昌永町 → 0 金沢駅	15	4.8%
3	0 金沢駅 → 7 近江町市場	13	4.1%
4	16 京町 → 0 金沢駅	12	3.8%
5	15 浅野本町 → 0 金沢駅	10	3.2%

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ②此花ルート

- 具体的な目的地は、平日・休日とも金沢駅、エムザ、近江町市場の順に多く、3施設で平日は72.0%、休日は62.5%を占める。

表 具体的な目的地（平日）

(N=200)

具体的な目的地	実数	%
金沢駅	55	27.5%
エムザ	47	23.5%
近江町市場	42	21.0%
彦三公民館	8	4.0%
百番街	7	3.5%
金沢フォーラス	6	3.0%
徳田外科胃腸科内科医院	5	2.5%
グリーンマーケットMOA金沢店	5	2.5%
金沢近江町郵便局	4	2.0%
クスリのアオキ浅野本町店	4	2.0%
城北病院	4	2.0%
石動信用金庫金沢支店	3	1.5%
城北診療所	3	1.5%
北國銀行城北支店	2	1.0%
別院通り商店街	1	0.5%
金沢信用金庫武蔵支店	1	0.5%
整形外科米澤病院	1	0.5%
北國銀行笠市支店	1	0.5%
金沢信用金庫駅前出張所	1	0.5%

表 具体的な目的地（休日）

(N=120)

具体的な目的地	実数	%
金沢駅	33	27.5%
エムザ	23	19.2%
近江町市場	19	15.8%
金沢フォーラス	11	9.2%
百番街	6	5.0%
県立音楽堂	5	4.2%
城北診療所	4	3.3%
彦三公民館	3	2.5%
北國銀行城北支店	3	2.5%
横安江町商店街	2	1.7%
別院通り商店街	2	1.7%
城北病院	2	1.7%
北國銀行笠市支店	2	1.7%
金沢信用金庫武蔵支店	1	0.8%
金沢近江町郵便局	1	0.8%
柴山クリニック	1	0.8%
クスリのアオキ浅野本町店	1	0.8%
能登内科医院	1	0.8%

# 1. 利用状況などの把握

## 【参考】ICaデータにおける年間バス停別乗客数（R元年度・此花ルート）

- バス停別1日当たりのICa利用乗車数は、金沢駅が最も多く、全バス停の乗車数の32.4%を占める。

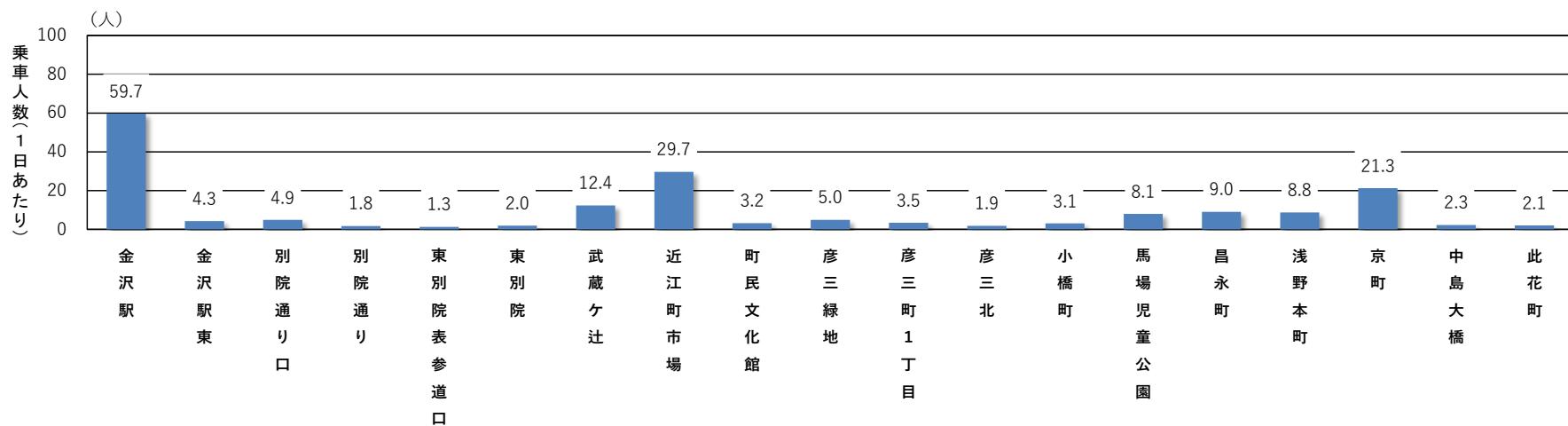


図 バス停別1日当たりのICa利用乗車数（此花ルート）

※金沢ふらっとバスのICa利用データ（2019.4～2020.3）を集計。  
データ内容は、乗車バス停／時間帯（2時間おき）／乗車人数

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ③菊川ルート

- 平日・休日とも香林坊、片町の乗降が多い。
- 乗降の組み合わせは、平日は大学病院→香林坊、休日は小立野下馬→香林坊が最も多い。

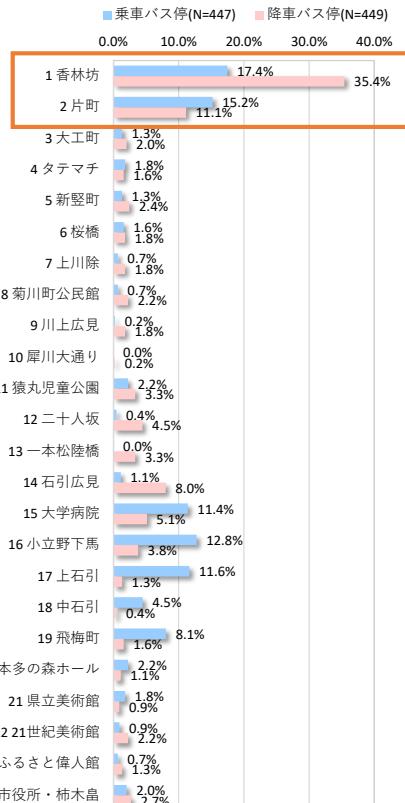


図 バス停別乗降客の割合（平日）



図 バス停別乗降客の割合（休日）

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（平日）

(N=442)			
順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	15 大学病院 → 1 香林坊	36	8.1%
2	16 小立野下馬 → 1 香林坊	31	7.0%
2	17 上石引 → 1 香林坊	31	7.0%
4	19 飛梅町 → 1 香林坊	16	3.6%
5	2 片町 → 14 石引広見	14	3.2%

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（休日）  
(N=269)

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	16 小立野下馬 → 1 香林坊	19	7.1%
2	20 本多の森ホール → 1 香林坊	16	5.9%
3	17 上石引 → 1 香林坊	13	4.8%
4	18 中石引 → 1 香林坊	12	4.5%
5	1 香林坊 → 14 石引広見	11	4.1%
5	15 大学病院 → 1 香林坊	11	4.1%

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ③菊川ルート

- 具体的な目的地は、平日は1位・香林坊大和、2位・金沢大学病院、3位・香林坊東急スクエアで3施設で60.3%を占める。休日は1位・香林坊大和、2位・本多の森ホール、3位・香林坊東急スクエアで3施設で57.2%を占める。

※休日調査日の9/13に、「本多の森ホール」では、陸上自衛隊中部方面音楽隊コンサート（14:00～15:10）が開催

表 具体的な目的地（平日）

具体的な目的地	実数	%
香林坊大和	50	41.3%
金沢大学附属病院	14	11.6%
香林坊東急スクエア	9	7.4%
片町きらら	7	5.8%
金沢市役所	7	5.8%
金沢21世紀美術館	7	5.8%
石引温泉亀の湯	4	3.3%
北陸電力会館本多の森ホール(厚生年金会館)	4	3.3%
新豊町商店街	2	1.7%
天狗中田本店	2	1.7%
菊川公民館	2	1.7%
北國銀行城南支店	2	1.7%
猿丸児童公園	2	1.7%
松原病院	2	1.7%
石川県立図書館	2	1.7%
三菱UFJ銀行金沢支店	1	0.8%
豊町商店街	1	0.8%
金沢菊川郵便局	1	0.8%
北陸銀行小立野支店	1	0.8%
石川護国神社	1	0.8%

表 具体的な目的地（休日）

具体的な目的地	実数	%
香林坊大和	35	31.8%
北陸電力会館本多の森ホール(厚生年金会館)	16	14.5%
香林坊東急スクエア	12	10.9%
金沢大学附属病院	8	7.3%
金沢21世紀美術館	7	6.4%
片町きらら	6	5.5%
金沢菊川郵便局	5	4.5%
犀星のみち	4	3.6%
金沢新豊町郵便局	2	1.8%
菊川公民館	2	1.8%
北陸銀行小立野支店	2	1.8%
石川四高記念文化交流館(近代文学館)	1	0.9%
日本銀行金沢支店	1	0.9%
三菱UFJ銀行金沢支店	1	0.9%
豊町商店街	1	0.9%
天狗中田本店	1	0.9%
北國銀行城南支店	1	0.9%
猿丸児童公園	1	0.9%
金沢石引郵便局	1	0.9%
石引温泉亀の湯	1	0.9%
兼六園	1	0.9%
金沢歌劇座(金沢観光会館)	1	0.9%

# 1. 利用状況などの把握

## 【参考】ICaデータにおける年間バス停別乗客数（R元年度・菊川ルート）

- バス停別1日当たりのICa利用乗車数は、香林坊、大学病院、片町、小立野下馬、上石引の順に多く、5バス停で全バス停の乗車数の69.5%を占める。

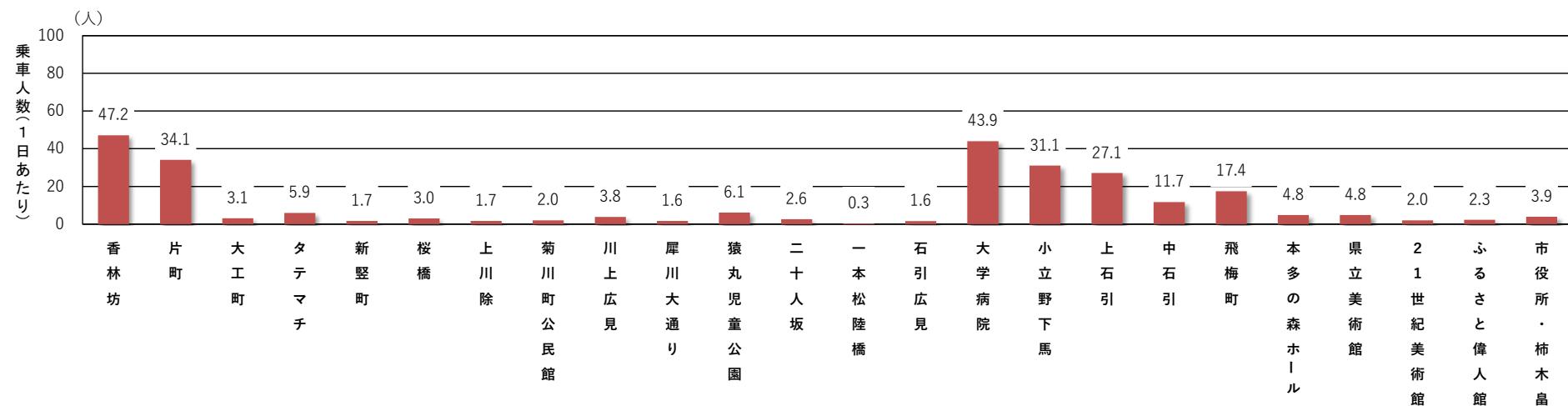


図 バス停別1日当たりのICa利用乗車数（菊川ルート）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ④材木ルート

- 平日・休日とも、武蔵ヶ辻・近江町市場、香林坊・仙石通りの乗降が多い。
- 乗降の組み合わせは、平日・休日ともに浅野川大橋→武蔵ヶ辻・近江町市場が最も多い。

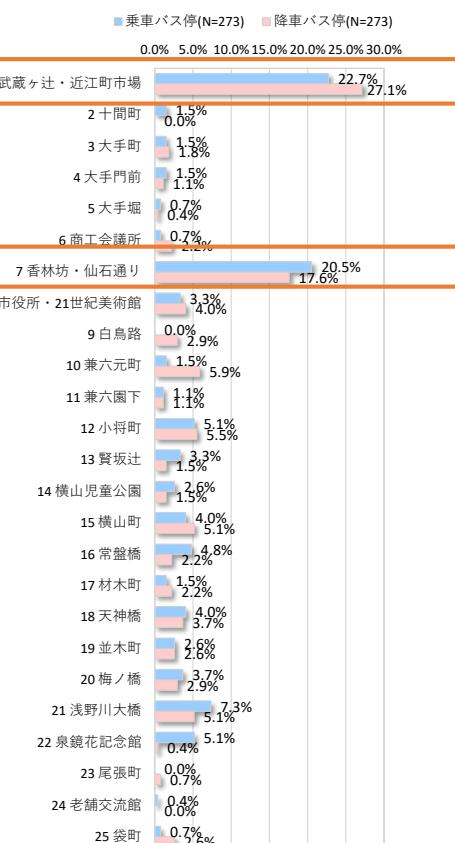
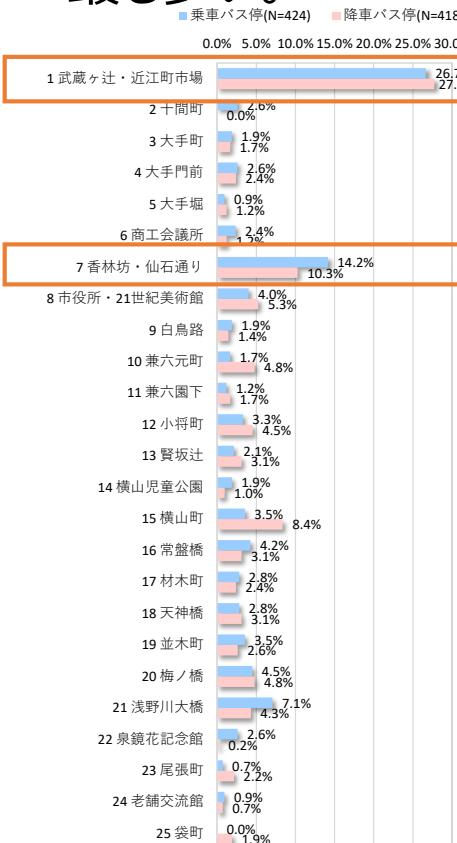


図 バス停別乗降客の割合（平日）

図 バス停別乗降客の割合（休日）

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（平日）

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	21 浅野川大橋 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	22	5.3%
2	1 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 15 横山町	14	3.3%
3	12 小将町 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	12	2.9%
4	20 梅ノ橋 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	11	2.6%
5	2 十間町 → 10 兼六元町	10	2.4%
5	7 香林坊・仙石通り → 15 横山町	10	2.4%
5	16 常盤橋 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	10	2.4%

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（休日）

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	21 浅野川大橋 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	12	4.4%
2	12 小将町 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	10	3.7%
2	22 泉鏡花記念館 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	10	3.7%
4	1 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 7 香林坊・仙石通り	9	3.3%
5	1 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 12 小将町	8	2.9%
5	7 香林坊・仙石通り → 9 白鳥路	8	2.9%
5	20 梅ノ橋 → 1 武蔵ヶ辻・近江町市場	8	2.9%

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ④材木ルート

- 具体的な目的地は、平日・休日とも、エムザ、香林坊大和、近江町市場の順に多く、3施設で平日は73.9%、休日は82.3%を占める。

表 具体的な目的地（平日）

具体的な目的地	人数	%
エムザ	56	39.4%
香林坊大和	28	19.7%
近江町市場	21	14.8%
金沢21世紀美術館	10	7.0%
金沢市役所	5	3.5%
兼六園	3	2.1%
北國銀行武蔵ヶ辻支店	2	1.4%
金沢近江町郵便局	2	1.4%
香林坊東急スクエア	2	1.4%
しいのき迎賓館	2	1.4%
かなざわはこまち	1	0.7%
横安江商店街	1	0.7%
金沢商工会議所	1	0.7%
尾山神社	1	0.7%
尾崎神社	1	0.7%
片町きらら	1	0.7%
石川四高記念文化交流館(近代文学館)	1	0.7%
金沢歌劇座(金沢観光会館)	1	0.7%
金沢城公園	1	0.7%
大手町病院	1	0.7%
敬愛病院	1	0.7%

表 具体的な目的地（休日）

具体的な目的地	人数	%
エムザ	48	42.5%
香林坊大和	33	29.2%
近江町市場	12	10.6%
金沢21世紀美術館	6	5.3%
香林坊東急スクエア	3	2.7%
しいのき迎賓館	3	2.7%
片町きらら	2	1.8%
兼六園	2	1.8%
金沢市役所	1	0.9%
いしかわ四高記念公園(中央公園)	1	0.9%
敬愛病院	1	0.9%
金沢文芸館	1	0.9%

# 1. 利用状況などの把握

## 【参考】ICaデータにおける年間バス停別乗客数（R元年度・材木ルート）

- バス停別1日当たりのICa利用乗車数は、武蔵ヶ辻・近江町市場、香林坊・仙石通りが多く、2バス停で全バス停の乗車数の43.0%を占める。

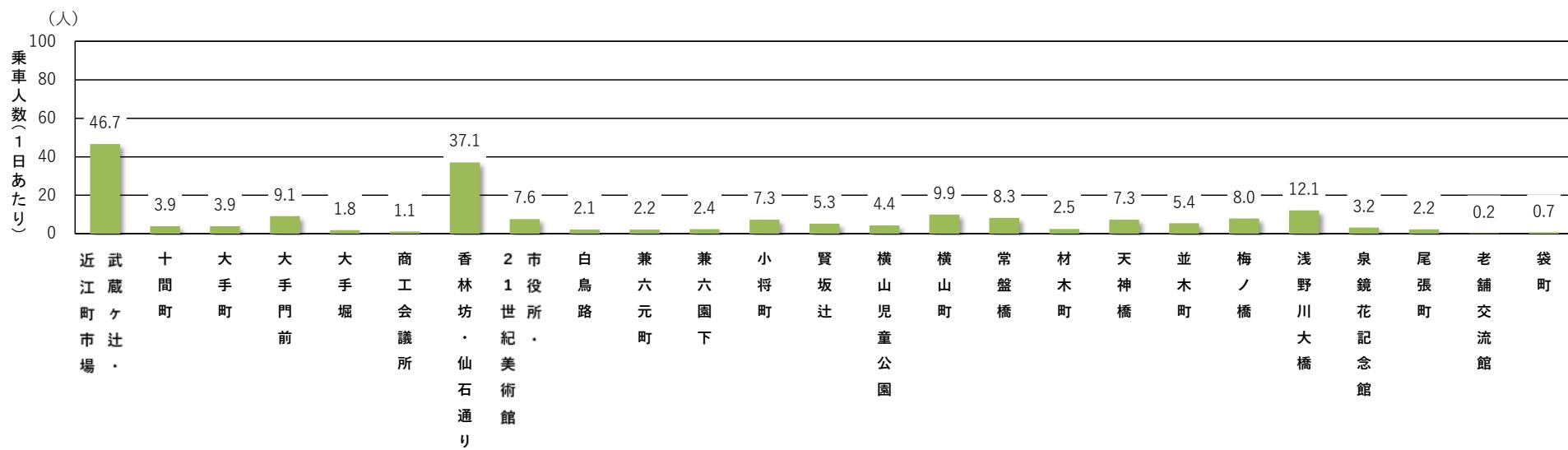


図 バス停別1日当たりのICa利用乗車数（材木ルート）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ⑤長町ルート

- 平日・休日とも、武蔵ヶ辻・近江町市場、中村神社（アピタ金沢店最寄バス停）の乗降が多い。
- 乗降の組み合わせは、平日休日ともに武蔵ヶ辻・近江町市場→中村神社が最も多い。



図 バス停別乗降客の割合（平日）

図 バス停別乗降客の割合（休日）

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（平日）  
(N=338)

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	8 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 20 中村神社	38	11.2%
2	3 聖靈病院・聖堂 → 8 武蔵ヶ辻・近江町市場	16	4.7%
3	20 中村神社 → 8 武蔵ヶ辻・近江町市場	16	4.7%
4	8 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 14 女性センター	11	3.3%
5	8 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 15 長土堀	10	3.0%

表 乗車降車バス停の組み合せ上位5位（休日）  
(N=221)

順位	乗降バス停 組み合わせ	実数	割合
1	8 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 20 中村神社	18	8.1%
2	20 中村神社 → 8 武蔵ヶ辻・近江町市場	11	5.0%
3	20 中村神社 → 25 片町	9	4.1%
4	3 聖靈病院・聖堂 → 8 武蔵ヶ辻・近江町市場	8	3.6%
4	8 武蔵ヶ辻・近江町市場 → 15 長土堀	8	3.6%

# 1. 利用状況などの把握

## 1-1. 乗降量調査結果

### (2) 調査結果

#### ⑤長町ルート

- 具体的な目的地は、平日・休日ともに1位・アピタ金沢店、2位・エムザ、3位・近江町市場。3施設で平日は、74.4%、休日は67.4%を占める。

表 具体的な目的地（平日）  
(N=121)

具体的な目的地	人数	%
アピタ金沢店	42	34.7%
エムザ	26	21.5%
近江町市場	22	18.2%
女性センター	5	4.1%
玉川図書館	4	3.3%
香林坊東急スクエア	4	3.3%
中央市民体育館	3	2.5%
満天の湯金沢店	3	2.5%
片町きらら	3	2.5%
金沢聖霊総合病院	3	2.5%
別院通り商店街	2	1.7%
かなざわはこまち	1	0.8%
松ヶ枝緑地	1	0.8%
老舗記念館	1	0.8%
足軽資料館	1	0.8%

表 具体的な目的地（休日）  
(N=123)

具体的な目的地	人数	%
アピタ金沢店	49	39.8%
エムザ	17	13.8%
近江町市場	17	13.8%
片町きらら	11	8.9%
女性センター	7	5.7%
満天の湯金沢店	6	4.9%
香林坊東急スクエア	4	3.3%
金沢聖霊総合病院	3	2.4%
老舗記念館	2	1.6%
長町武家屋敷跡	2	1.6%
かなざわはこまち	1	0.8%
玉川公園	1	0.8%
玉川子ども図書館	1	0.8%
松ヶ枝緑地	1	0.8%
北國銀行(研修館)	1	0.8%

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (1) 調査概要

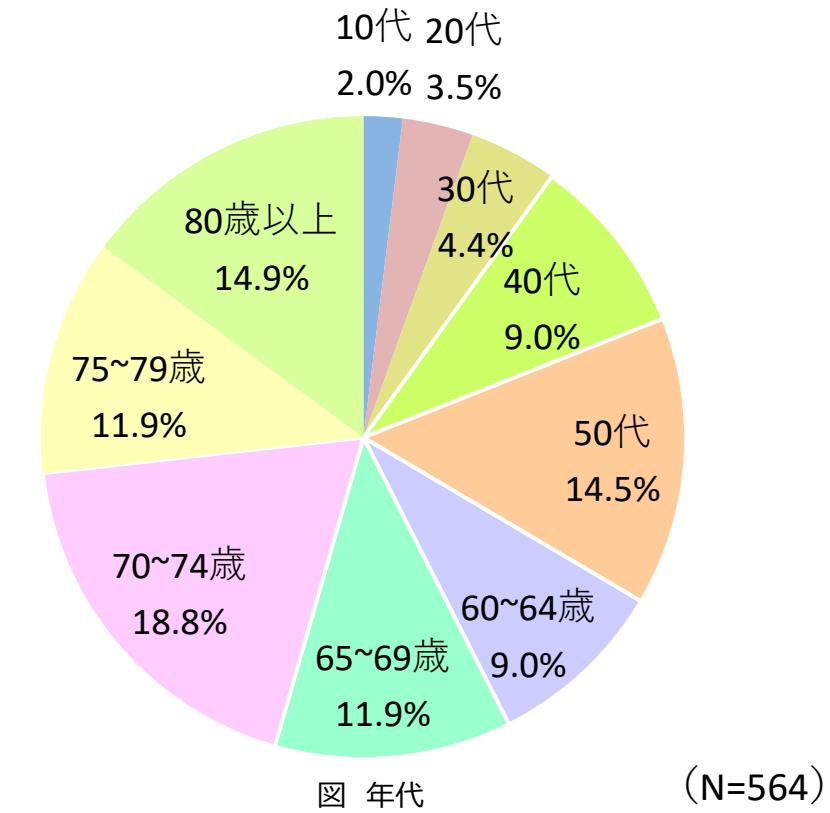
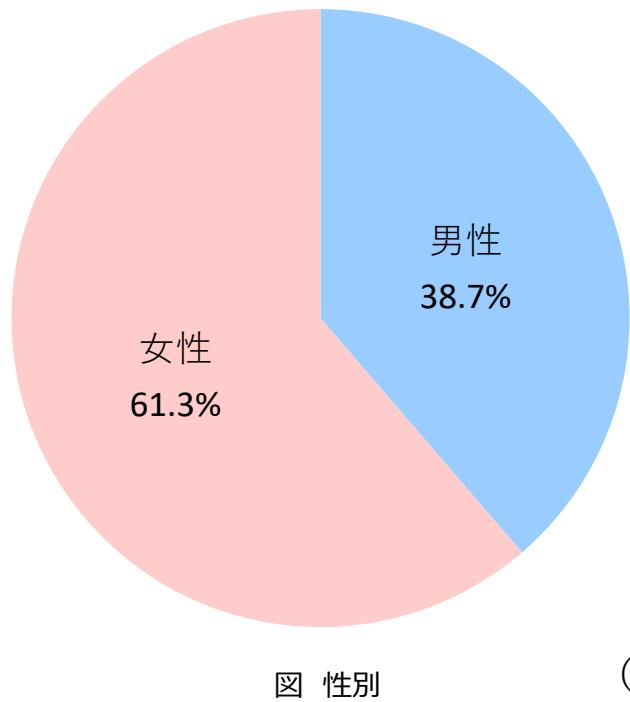
項目	内 容
①目的	金沢ふらっとバス沿線住民の移動実態や金沢ふらっとバス利用実態などの把握
②対象	沿線の15町会の718世帯（対象人数推計1,300～1,400人）
③方法	調査票を入れた封筒を各戸配布
④スケジュール	・9/28～10/2 各戸配布 ・10/20 アンケート締め切り
⑤設問	【属性】 性別／町会名／年代／職業／免許の有無／ 【外出状況】 外出頻度／外出先と移動手段／ 【金沢ふらっとバスについて】 認知度／過去1年の利用有無／利用頻度／ 利用しない理由／自由意見
⑥回答数	566人

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ①男女別、年齢階層別



※まちなか区域人口と比較して、性別では女性、年齢では高齢者の比率が高い

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ②運転免許保有状況

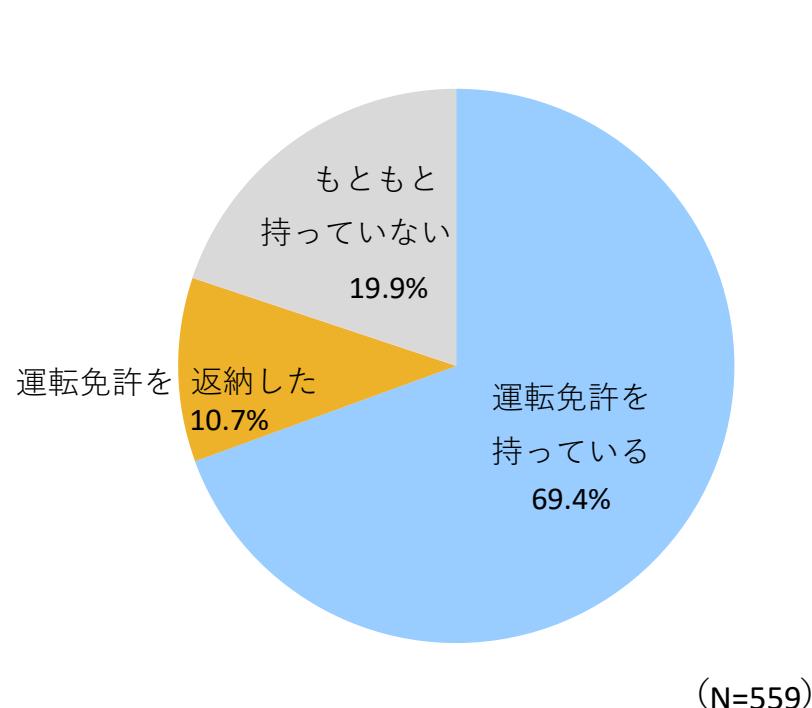


図 運転免許保有状況

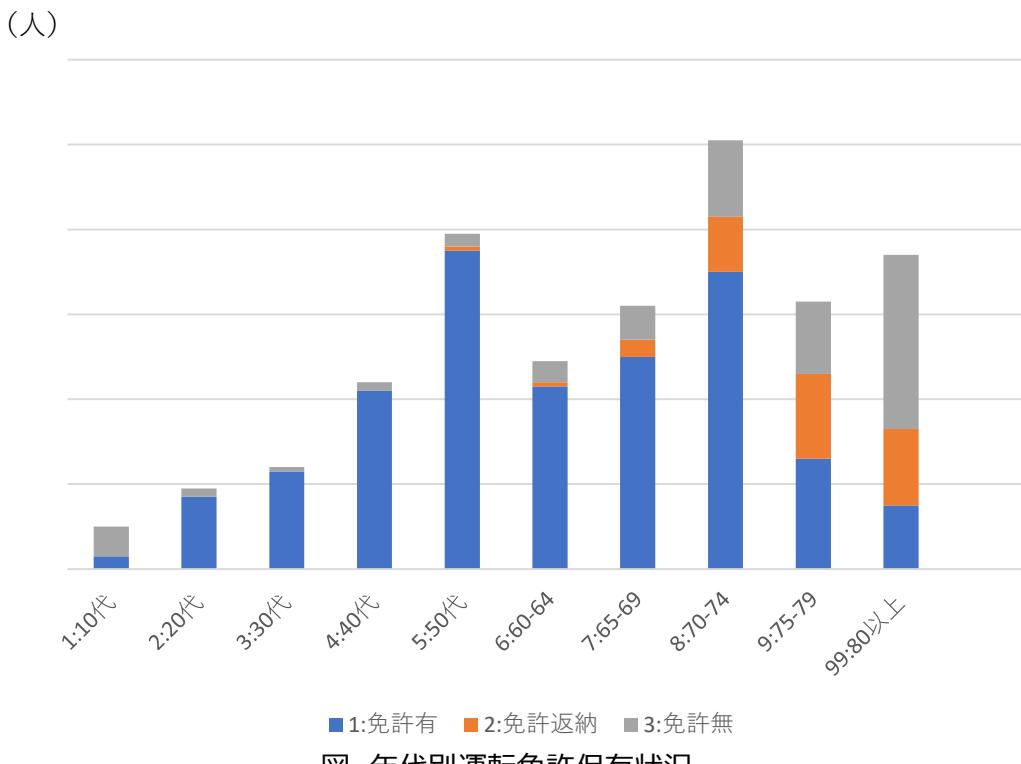


図 年代別運転免許保有状況

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ②運転免許保有状況

- 70歳を境に運転免許保有割合の男女差が大きくなる

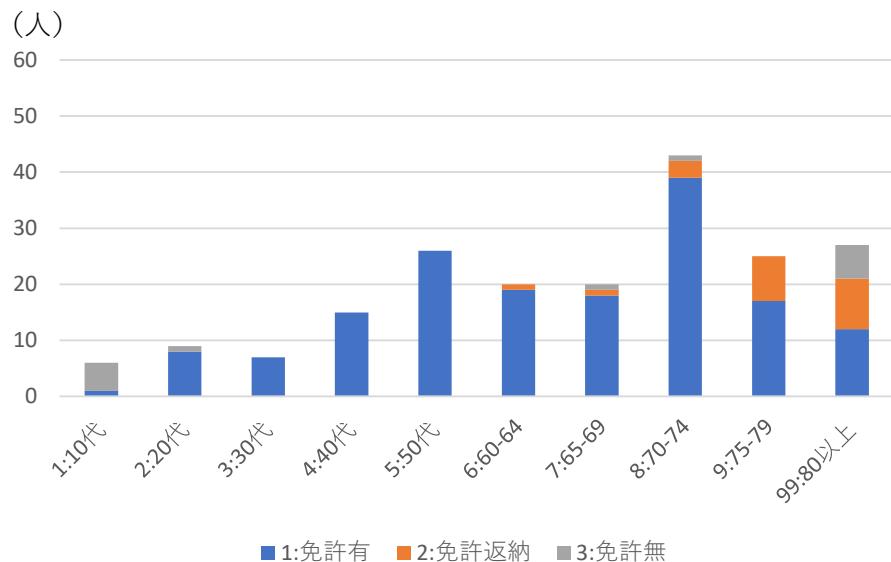


図 年代別運転免許保有状況（男性）

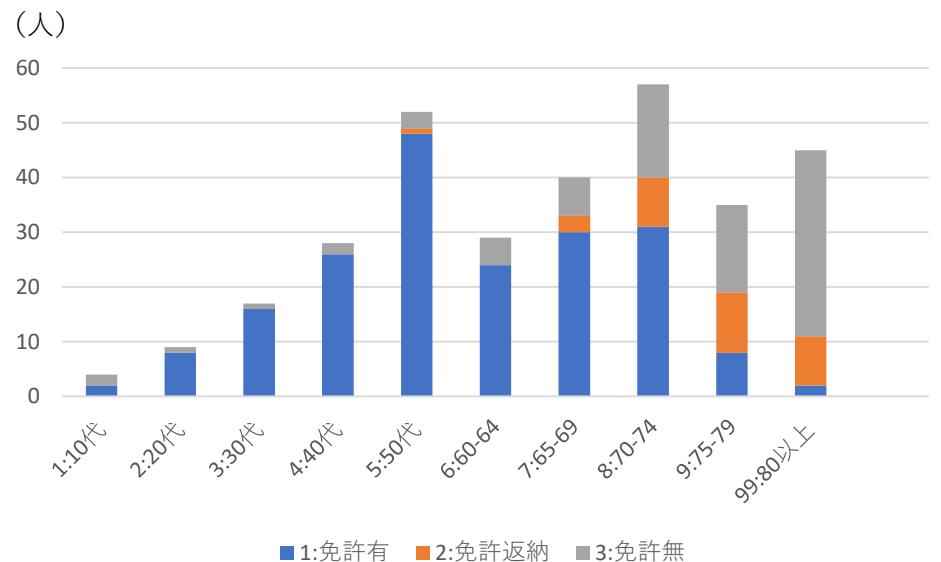


図 年代別運転免許保有状況（女性）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ③普段利用する移動手段

- 全体：「車」43.0%、「ふらっとバス」12.8%、「自転車」10.5% の順
- 65歳以上：「車」31.4%、「ふらっとバス」18.5%、「自転車」9.9% の順

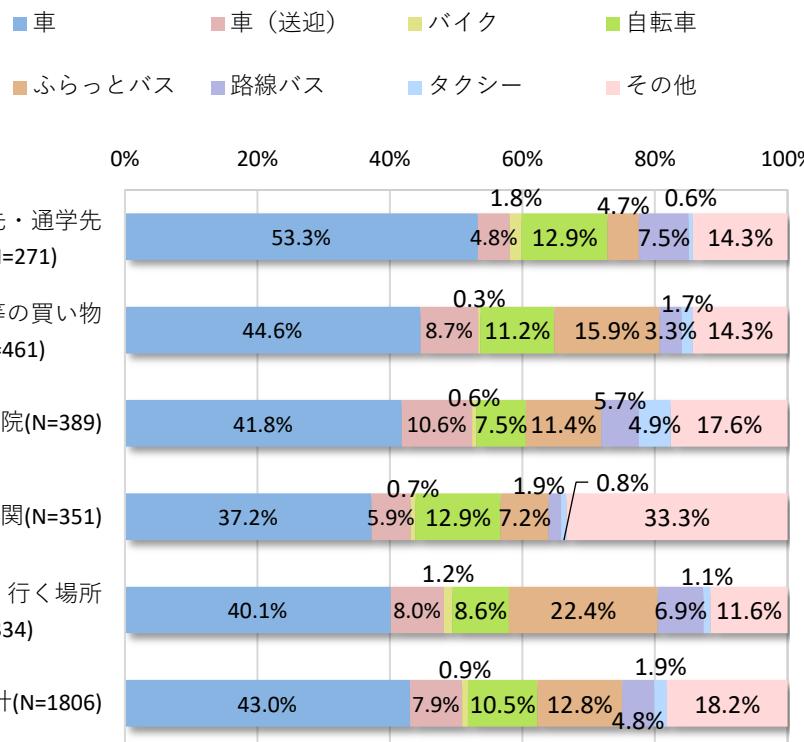


図 普段利用する移動手段（全体）

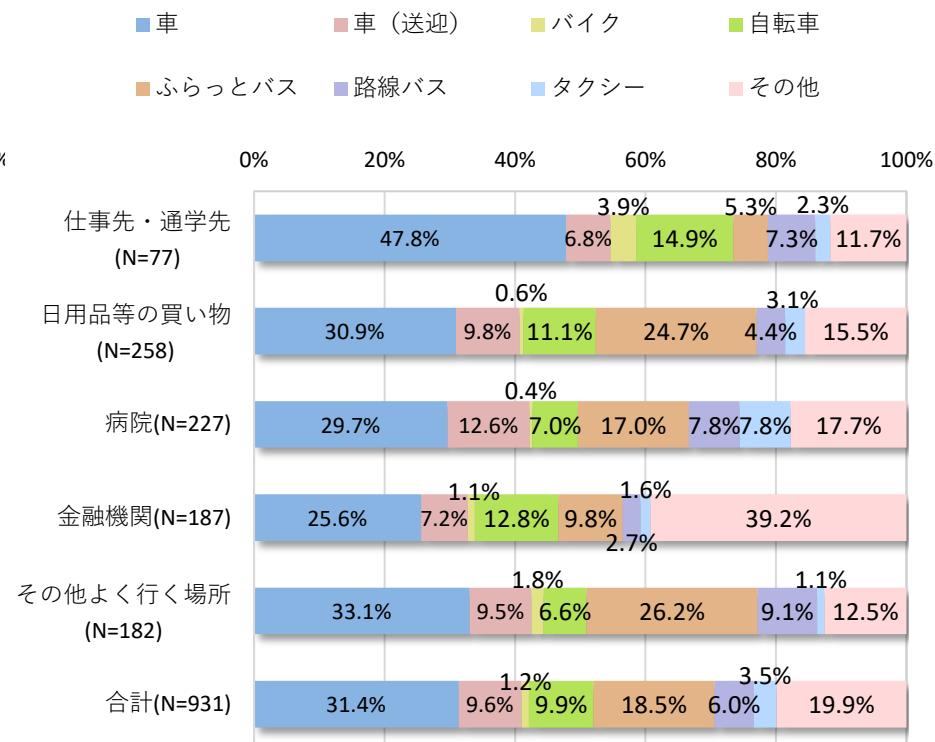


図 普段利用する移動手段（65歳以上）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ④金沢ふらっとバス認知度

- 99.7%が「知っている」と回答

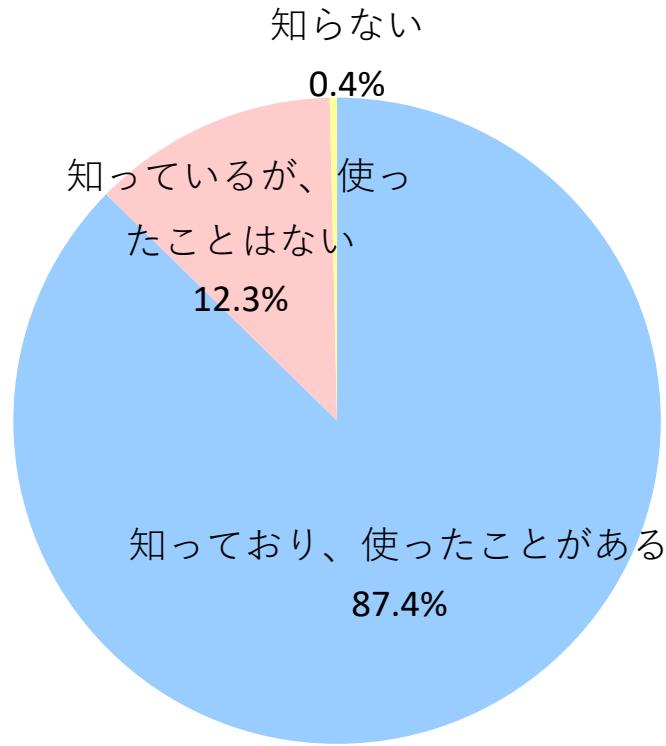


図 金沢ふらっとバスの認知度

(N=554)

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ⑤金沢ふらっとバス利用頻度

- 「1年以内に使った」69.5%、「1年以内に使っていない」30.5%
- 「1年以内に使っていない」人の使わない理由  
「他の手段の方が早い」が72.8%、「行きたい場所に行かない」が34.6%

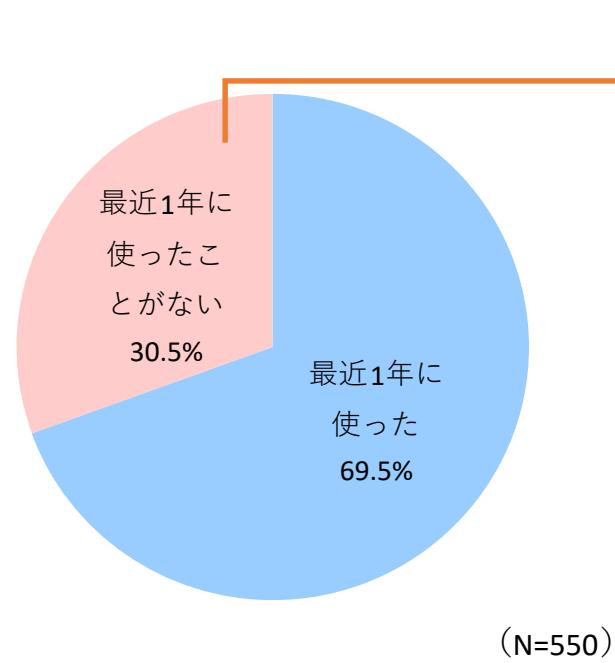


図 金沢ふらっとバスの利用状況（直近1年）

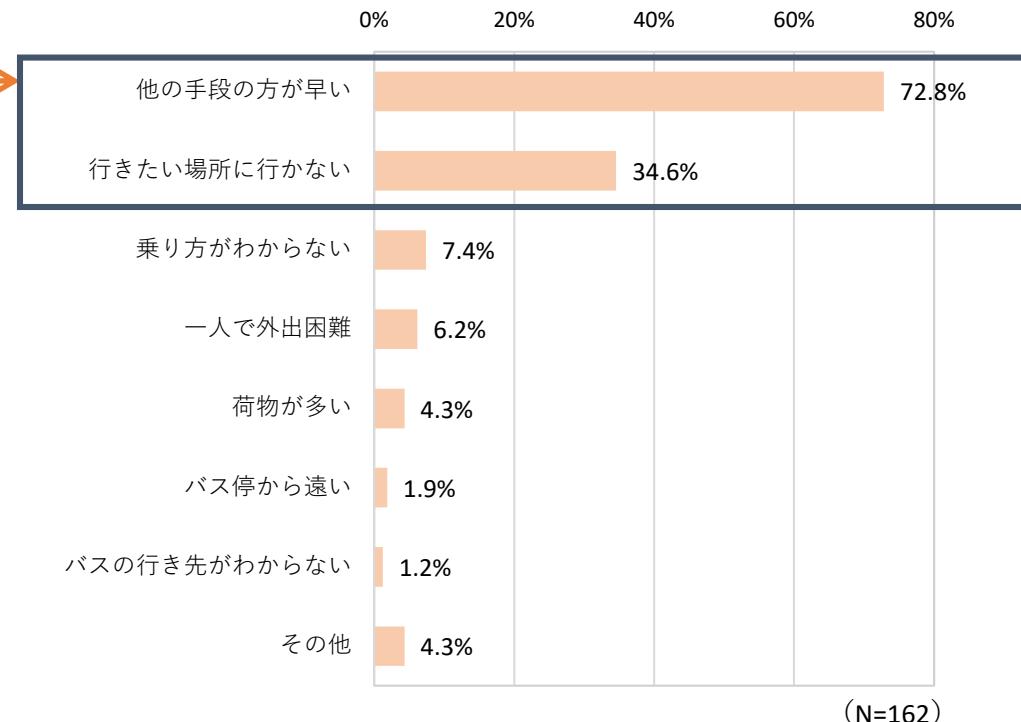


図 金沢ふらっとバスを1年以内に利用していない理由

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### ⑤金沢ふらっとバス利用頻度

- 全年齢で男性の利用頻度が低く、女性は年齢とともに利用頻度が上がる

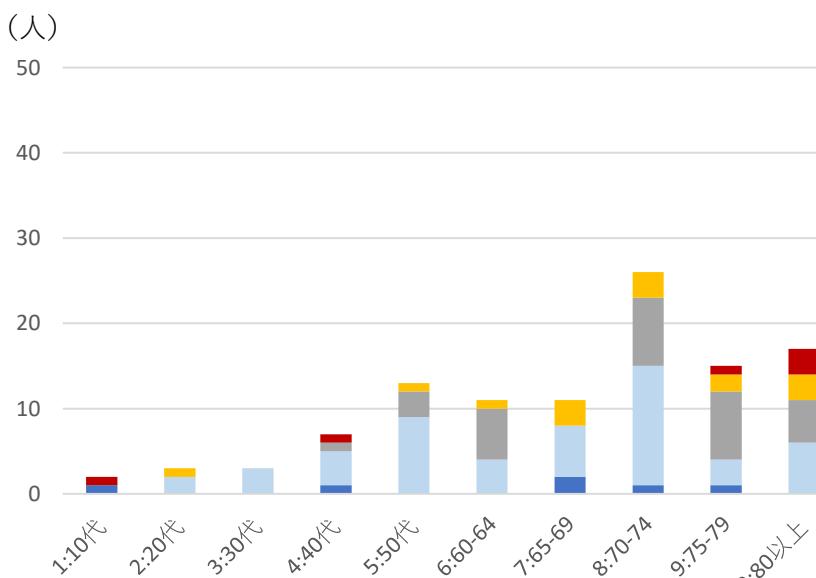


図 金沢ふらっとバスの利用頻度（男性）

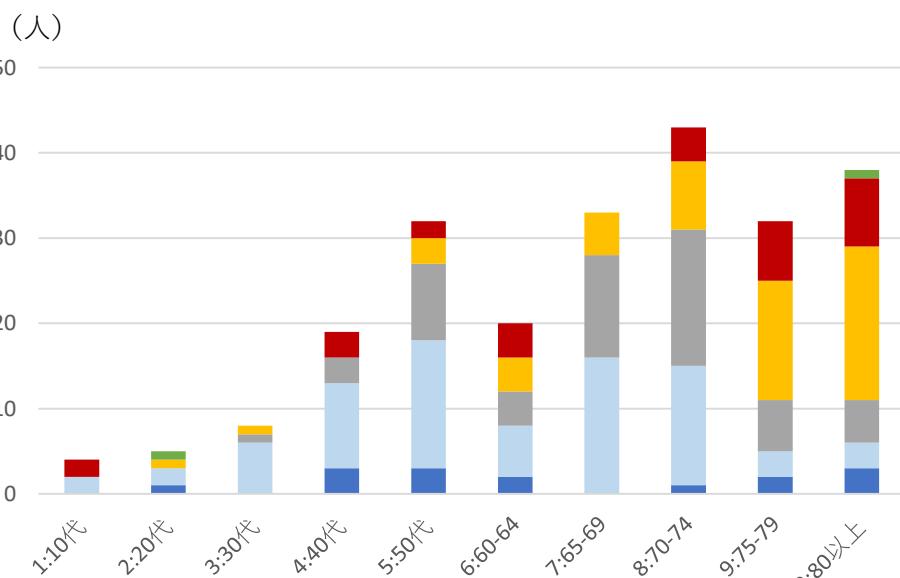


図 金沢ふらっとバスの利用頻度（女性）

# 1. 利用状況などの把握

## 1-2. 沿線住民アンケート調査結果

### (2) 調査結果

#### 【問13 地域の足を今後どうすべきか 自由回答】

質問本文：運転手不足や人口減少など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増していますが、今後とも地域の足を確保するためにはどうすべきか、あなたの意見をお聞かせください。（325人回答 意見数534件）

（金沢ふらっとバスの運行に関して）

改善を求める声 234件

- 「減便」52件 「キャッシュレス化等運賃面の要望」 15件  
「モビリティマネジメントの実施」15件  
その他「自動運転」「時間調整・ダイヤ見直し」など

継続を希望する声 166件

- 「必要な公共交通」 45件 「減便しても存続希望」32件  
「高齢者にとって必要」31件 「免許返納後に必要」18件  
その他「高齢化社会を見据え必要」「運賃値上げしても存続希望」など

感謝の声 63件

- 「便利・助かる・ありがたい・利用したい」 50件 など

# 1. 利用状況などの把握

## 1-3. 乗降量調査・沿線住民アンケート調査のまとめ

### 【乗降量調査】

- 利用者の高齢化が進み、80歳以上の利用者割合が増えた
- 休日は男性、20歳代の利用者が平日より多いが、女性の利用者には及ばない
- 買い物主体の利用目的、利用頻度、主な行き先はH24調査と変化なし

### 【沿線住民アンケート】

- 金沢ふらっとバスは、住民の移動の一定の割合を担っており、高齢者でその割合が高い
- 最近1年間に利用したことがない最大の理由は、「他の移動手段の方が早い」で、移動手段は車と推測される
- 男性は女性に比べ、金沢ふらっとバスの利用頻度は低く、高齢者でも男性の運転免許保有率が高いことと関係があると考えられる
- 沿線住民はこれまでどおりの運行頻度でなくとも運行継続を希望する意見が多い

## 2. 交通事業者の意向

### 運行事業者への意見聴取

#### (1) 運転手不足について

コロナによる影響はあるものの、バス運転手は全国的かつ慢性的に不足の状態が続いており、コロナ後の移動の回復を視野に入れるとともに、働き方改革の推進に伴う運転手の勤務条件の改善を図る必要がある

※現在の所要人数	此花	1日あたり3名	年間	5名
	菊川・材木・長町	1日あたり5名	年間	8名

⇒現行の人数を確保することは難しい

## 2. 交通事業者の意向

### 運行事業者への意見聴取

#### (2) その他の運行条件について

##### 《全4ルート》

道路状況の変化により、各停留所間のダイヤと実所要時間に相違が生じている

##### 《此花ルート》

現在の1周30分での循環運行が難しく、運転に余裕がない  
金沢駅における時間調整が難しくなっている

##### 《長町ルート》

市道橋場若宮線での渋滞による遅延が生じており、今後、  
中央小学校建設工事本格化にともなう沿線のさらなる渋滞も懸念される

### 3. 「持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会」からの提言（案）

#### 提言内容

金沢ふらっとバスは、高齢化が進むまちなかの交通不便地域の生活を支える交通手段であると共に、「都市の装置」の一部として他の公共交通機関とのネットワークにより、来街者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図るために、将来も維持していくべき貴重な生活バス路線である。

一方で、運行開始から20年以上が経過した現在、運行事業者における運転手不足や、走行条件の変化など、運行を取り巻く環境は大きな変化を見せており、今後も持続可能な運行を継続するために、以下の提言を行う。

### 3. 「持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会」からの提言（案）

#### 提言内容

##### 1. 当面確保できる運転者数に応じたダイヤによる運行を行うこと

バス運転手の高齢化と、新規採用人数の減少が続いたことにより、運転手不足は一般路線バスの運行にも影響を及ぼすに至っている。

金沢ふらっとバスについても、運行事業者からは現状のまま運行を継続することが困難であるとの意見があったことから、当面、確保できる人員により、勤務条件にも配慮した運行に切り替えること。

##### 2. 運行ネックの解消・利便性向上につながるダイヤ・ルートの見直しを図ること

今後、道路状況の変化に対応して、所要時間の増大や路線バスとの競合などにより運行に支障をきたさない範囲で、利用者の利便性向上につながるダイヤやルートの見直しに取り組むこと。

### 3. 「持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会」からの提言（案）

#### 提言内容 つづき

##### 3. サービス水準の向上につながる施策の実現に向け取り組むこと

金沢ふらっとバスを、利用者にとってより使い勝手の良い交通機関とするために、ソフト・ハードの両面からのサービス水準の向上につながる施策の実現に、可能なものから取り組むこと。また、将来はMaaS( \* )、自動運転等の技術進歩を見据え、金沢市全体の次世代の交通体系の中で機能できるコミュニティバスを目指すこと。

( \*)MaaS:Mobility as a Serviceの略。マイカー以外の交通手段による移動を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな概念

##### 4. 利用頻度が少ない沿線住民や、来街者の「路線の認知・利用」意識の醸成を図ること

持続可能な運行のためには、市と交通事業者の努力に加え、来街者・沿線住民等、市民の公共交通利用への意識付けから、実際に乗車する行為へと結びつく行動変化を促すことが重要であり、今回の調査結果を踏まえて沿線住民や来街者の「路線の認知・利用」意識の醸成を図ること。

### 3. 「持続可能な金沢ふらっとバスの運行に関する検討会」からの提言（案）

#### 提言内容 つづき

##### （付記）金沢ふらっとバス運行事業のチェック体制等について

以上の提言を今後の運行事業に反映させることに併せ、市においては、今後は利用実態や沿線住民等の意識、走行条件の変化等について定期的に調査を実施し、所要人員、車両数、運行収支面など多角的な視点から持続可能な事業とするため、チェックと見直しを継続されたい。

また、運行事業者は、今後、運転手の雇用情勢や日々のICカードデータ等について、市との情報共有を一層進められたい。